



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 アクリーティブ株式会社

上場取引所 東

コード番号 8423 URL <http://www.accretive.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役

(氏名) 菅原 猛

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 財務部長

(氏名) 高山 浩

TEL 03-3552-8701

四半期報告書提出予定日 平成28年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	1,833	6.5	933	5.7	951	6.4	799	3.4
28年3月期第2四半期	1,721	18.8	882	30.5	894	26.0	773	21.1

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 861百万円 (10.4%) 28年3月期第2四半期 780百万円 (21.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.65	18.64
28年3月期第2四半期	18.04	—

- (注) 1. 平成28年3月期第2四半期の「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
 2. 第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行っております。平成28年3月期第2四半期についても当該表示方法の変更を反映した組替え後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しています。この変更により、営業収益を変更しておりますが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益の変更はありません。詳細は、【添付資料】P.3「2.サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	20,996	8,100	38.0	186.01
28年3月期	21,460	7,390	34.1	170.89

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 7,972百万円 28年3月期 7,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	3.60	3.60
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	3.80	3.80

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,980	9.8	1,900	3.0	1,920	3.7	1,790	3.5	41.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	43,427,500 株	28年3月期	43,427,500 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	566,800 株	28年3月期	566,800 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	42,860,700 株	28年3月期2Q	42,860,700 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、政府主導による金融緩和や経済政策の効果等を背景に、企業収益や雇用情勢に改善の兆しが見られ、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、英国のEU離脱問題による金融市場の混乱や中国をはじめとする新興国経済の成長鈍化といった懸念すべき事項も多いことから、依然として先行き不透明な状況となっております。

このような環境の下、当社グループはアセットビジネス事業の収益確保に努めるとともに、ソリューション事業の推進に注力し、レジオペレーション業務の受託拡大や外貨決済・両替支援サービスである「G P a y」の拡販に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、債権取扱高101,676百万円（前年同四半期比6.4%増）、営業収益1,833百万円（前年同四半期比6.5%増）、営業利益933百万円（前年同四半期比5.7%増）、経常利益951百万円（前年同四半期比6.4%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益799百万円（前年同四半期比3.4%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、その他（保険代理店事業）を行っていた株式会社サンアソートを連結除外しております。

①アセットビジネス事業

主要取引先であるドン・キホーテグループの債権取扱高は増加したものの、医療・介護分野の債権取扱高減少等により、セグメントの営業収益は919百万円（前年同四半期比6.6%減）、営業利益は455百万円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

②ソリューション事業

レジオペレーション業務の受託増加により、セグメントの営業収益は920百万円（前年同四半期比33.5%増）、営業利益は682百万円（前年同四半期比33.1%増）となりました。

③その他

該当事項はありません。（前年同四半期の営業収益は60百万円、営業利益は32百万円）

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ463百万円減少し、20,996百万円となりました。これは主に有利子負債の返済に伴う現金及び預金の減少によるものであります。なお、買取債権のうち債権売却によって流動化されている買取債権残高は1,066百万円であります。

(負債)

負債については、前連結会計年度に比べ1,173百万円減少し、12,896百万円となりました。これは主に短期借入金金の減少によるものであります。

(純資産)

純資産については、配当金の支払及び四半期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ709百万円増加し、8,100百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、有利子負債の返済により、前連結会計年度末に比べ1,230百万円減少し、当第2四半期連結会計期間末における資金残高は3,362百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は165百万円（前年同四半期は304百万円の獲得）となりました。これは主に買取債権の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果獲得した資金は54百万円（前年同四半期比65.4%減）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,121百万円（前年同四半期比317.9%増）となりました。これは主に短期借入金金の減少及び配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月5日付第1四半期決算短信で公表いたしました平成29年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間において、株式会社サンアソートの全株式を譲渡したため、連結範囲の対象から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(表示方法の変更)

従来、ソリューション事業に係る費用の一部について、「販売費及び一般管理費」として表示しておりましたが、第1四半期連結累計期間より「ソリューション事業原価」として表示する方法に変更しております。

これはレジオペレーション業務等の受託拡大により、ソリューション事業の金額的重要性が高まってきたことから、当社の営業収益をより適正に表示するために、「ソリューション事業原価」として営業収益から控除する方法に変更を行うものです。

また、この変更に伴い、従来は一括して掲記していた「営業収益」を、第1四半期連結累計期間より事業の種類ごとに独立掲記する方法に変更しております。

これらの表示方法の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前第2四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、「営業収益」として表示していた1,935,712千円は、「アセットビジネス事業収益」985,084千円、「ソリューション事業収益」890,175千円、「その他の事業収益」60,452千円として、「販売費及び一般管理費」として表示していた975,313千円は、「ソリューション事業原価」214,355千円、「販売費及び一般管理費」760,958千円としてそれぞれ組み替えております。

なお、この変更により「営業収益」は変更前に比べて214,355千円減少しておりますが、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,593,310	3,362,800
買取債権	13,569,075	14,186,376
営業貸付金	1,097,149	1,286,954
売掛金	747,120	816,930
その他	498,845	459,243
流動資産合計	20,505,502	20,112,306
固定資産		
有形固定資産	94,086	96,715
無形固定資産		
のれん	237,901	163,452
その他	68,703	64,621
無形固定資産合計	306,604	228,074
投資その他の資産		
その他	553,977	559,643
投資その他の資産合計	553,977	559,643
固定資産合計	954,668	884,433
資産合計	21,460,171	20,996,739
負債の部		
流動負債		
買掛金	509,082	552,451
短期借入金	11,506,000	10,518,500
1年内償還予定の社債	300,000	300,000
未払法人税等	141,876	101,668
預り金	403,673	317,918
賞与引当金	58,015	53,622
その他	421,596	479,302
流動負債合計	13,340,243	12,323,463
固定負債		
長期借入金	400,000	400,000
社債	300,000	150,000
その他	29,257	22,612
固定負債合計	729,257	572,612
負債合計	14,069,501	12,896,075
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,224,823	1,224,823
資本剰余金	293,165	293,165
利益剰余金	5,851,991	6,496,866
自己株式	△73,684	△73,684
株主資本合計	7,296,296	7,941,170
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,888	39,179
為替換算調整勘定	3,263	△7,649
その他の包括利益累計額合計	28,152	31,529
新株予約権	—	2,360
非支配株主持分	66,221	125,602
純資産合計	7,390,670	8,100,663
負債純資産合計	21,460,171	20,996,739

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業収益		
アセットビジネス事業収益	985,084	919,817
ソリューション事業利益		
ソリューション事業収益	890,175	1,817,545
ソリューション事業原価	214,355	903,751
ソリューション事業利益	675,820	913,793
その他の事業収益	60,452	—
営業収益合計	1,721,357	1,833,611
金融費用	77,641	57,782
販売費及び一般管理費	760,958	842,747
営業利益	882,757	933,081
営業外収益		
受取利息	626	238
受取配当金	33,678	34,260
受取地代家賃	8,831	8,904
その他	647	629
営業外収益合計	43,784	44,032
営業外費用		
為替差損	19,005	14,267
社債利息	4,918	3,282
貸貸費用	7,665	7,651
その他	297	0
営業外費用合計	31,887	25,201
経常利益	894,653	951,912
特別利益		
子会社株式売却益	—	95,274
特別利益合計	—	95,274
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	78,750
その他	475	1,570
特別損失合計	475	80,320
税金等調整前四半期純利益	894,178	966,865
法人税、住民税及び事業税	123,900	93,969
法人税等調整額	△2,727	20,644
法人税等合計	121,172	114,613
四半期純利益	773,006	852,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	53,078
親会社株主に帰属する四半期純利益	773,006	799,173

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	773,006	852,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,422	14,291
為替換算調整勘定	17,295	△4,640
その他の包括利益合計	7,873	9,650
四半期包括利益	780,879	861,902
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	780,879	802,551
非支配株主に係る四半期包括利益	—	59,351

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	894,178	966,865
減価償却費	14,405	22,288
のれん償却額	7,100	4,928
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,750	71,091
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,162	△3,050
受取利息及び受取配当金	△34,304	△34,499
社債利息	4,918	3,282
子会社株式売却損益(△は益)	—	△95,274
買取債権の増減額(△は増加)	△961,946	△811,080
売上債権の増減額(△は増加)	71,865	△69,809
営業貸付金の増減額(△は増加)	188,326	△189,805
長期営業債権の増減額(△は増加)	7,346	5,741
仕入債務の増減額(△は減少)	6,741	43,369
未払金の増減額(△は減少)	14,471	67,152
預り金の増減額(△は減少)	217,562	△45,599
前受収益の増減額(△は減少)	△2,979	2,343
未払消費税等の増減額(△は減少)	△27,480	10,205
その他	△5,815	△61,544
小計	395,801	△113,392
利息及び配当金の受取額	34,304	34,499
利息の支払額	△4,569	△2,921
法人税等の支払額	△124,115	△94,039
法人税等の還付額	2,757	10,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	304,178	△165,030
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	184,160	—
有形固定資産の取得による支出	△16,609	△17,067
無形固定資産の取得による支出	△9,052	△12,973
差入保証金の差入による支出	△200	△3,818
差入保証金の回収による収入	136	96
預り保証金の返還による支出	—	△656
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	89,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	158,433	54,863
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	243,150	△816,500
長期借入金の返済による支出	△262,500	—
社債の償還による支出	△150,000	△150,000
配当金の支払額	△98,579	△154,298
その他	△389	△389
財務活動によるキャッシュ・フロー	△268,319	△1,121,188
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,412	844
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	211,705	△1,230,510
現金及び現金同等物の期首残高	5,671,324	4,593,310
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,883,029	3,362,800

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	アセット ビジネス	ソリュー ション (注) 4	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	985,084	675,820	1,660,905	60,452	1,721,357	—	1,721,357
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	14,119	14,119	—	14,119	△14,119	—
計	985,084	689,940	1,675,024	60,452	1,735,476	△14,119	1,721,357
セグメント利益	527,797	512,477	1,040,274	32,074	1,072,348	△189,591	882,757

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、株式会社サンアソートにて保険代理店事業を行っております。

2. セグメント利益の調整額△189,591千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(4)追加情報」に記載のとおり、前第2四半期連結累計期間について表示方法の変更に伴う組替え後の数値を記載しております。

この結果、「外部顧客への営業収益」が「ソリューション」において214,355千円減少しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	アセット ビジネス	ソリュー ション	計				
営業収益							
外部顧客への営業収益	919,817	913,793	1,833,611	—	1,833,611	—	1,833,611
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	7,200	7,200	—	7,200	△7,200	—
計	919,817	920,993	1,840,811	—	1,840,811	△7,200	1,833,611
セグメント利益	455,315	682,188	1,137,503	—	1,137,503	△204,421	933,081

(注) 1. セグメント利益の調整額△204,421千円は、セグメント間取引消去及び全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。